

第4章

みどりあふれる持続可能なエコタウン

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題			
411	管財課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	予算の範囲内で効率的に低公害車の導入を進めた。	R4年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
		優先	自治事務	7,473千円	7,473千円	導入台数 導入実績 導入率	低公害車導入率	公用車の低公害車への入替えが100%となるまでは、新車の更新を定期的に行う必要がある。	特になし							
		根拠法令	所沢市自動車管理規定、環境マネージメントシステム、埼玉県地球温暖化対策推進条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)							8,929千円		8,795千円		
		期間	H13 ~	事業の目的及び具体的な内容	良好な環境を将来の世代に引き継ぐことを目的としている埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づき、大気汚染防止の観点から低公害車の導入を進めている。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標			R3実績		R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
						0.68人	0人		98.0%			98.5%				
						5,426千円	5台 136台 98.5%	R4目標	R4実績			目標達成済		R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
						R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	98.5%							98.5%
0.58人	0人	R5目標	R5実績	98.5%												
4,641千円		98.5%														
評価者	管財担当参事 高橋 国弘	どのように貢献したか	環境にやさしい低公害車について、高い導入率を維持している。													
411	マチごとエコタウン推進課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	スマートハウス化推進補助事業全体の成果では、昨年度比で目標達成できていないが、予算執行の9割を占めている家庭用の項目ではCO2排出削減量が約200t-CO2増加(345t-CO2 544t-CO2)しており、家庭部門における削減に成果を出しているため。	R4年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
		-	自治事務	65,000千円	63,736千円	家庭用補助金交付 事業用補助金交付 自治会・管理組合用補助金交付	本事業を実施することによるCO2排出削減推定量	住宅のスマートハウス化を推進することで、市域からの二酸化炭素排出量を削減できるため、左記項目を指標とする。	R4目標値が未達成の理由・分析			R4目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		根拠法令	-	R4予算現額	R4決算額(見込み)										70,000千円	67,121千円
		期間	H31 ~	事業の目的及び具体的な内容	【目的】所沢市マチごとエコタウン推進計画に基づき、再生可能エネルギー利用設備や省エネルギー設備等を導入する市民及び事業者等に対して、予算の範囲内で、経費の一部を補助し、市域における再生可能エネルギーの導入及びエネルギーの効率的な利用をより一層推進する。 【内容】 家庭用(エコリフォーム、創エネ・蓄エネ機器導入) 事業者用 自治会・管理組合用	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標			R3実績		R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
						1.44人	0.2人		増加			578t-CO				
						11,491千円	873件 2件 0件	R4目標	R4実績			事業用機器の買い替えに対する補助を廃止したことにより、1件当たりのCO2排出削減量が多い事業者用の申請件数が減少したため。		R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
						R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	増加							570t-CO
1.24人	1.25人	R5目標	R5実績	増加												
9,922千円		増加														
評価者	マチごとエコタウン推進課長 齋藤 伸宏	どのように貢献したか	市内の二酸化炭素排出量の半数以上を占める家庭と事業者の排出量削減に効果的であることから、引き続き社会情勢や市場価格を鑑み、より効果的な補助となるよう工夫しながら進めていく。													
411	経営課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	9月にガソリン車2台をハイブリッド車に更新した。 低公害車の導入により、温室効果ガスの排出量を年間約305kg抑制することができ、ゼロカーボンシティの実現に寄与した。 また、燃費が改善したため、年間約20,000円の燃料費削減を実現できる見込みである。	R4年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
		最優先	自治事務	0千円	0千円	更新台数	低公害車導入率	既存ガソリン車の更新時期に合わせて更新台数及び低公害車導入率を設定	R4目標値が未達成の理由・分析			R4目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		根拠法令	埼玉県地球温暖化対策推進条例、所沢市マチごとエコタウン推進計画、所沢市水道事業経営計画	R4予算現額	R4決算額(見込み)										6,725千円	4,042千円
		期間	R3 ~	事業の目的及び具体的な内容	所沢市マチごとエコタウン推進計画並びに所沢市水道事業経営計画に基づき、地球温暖化緩和策を推進するため、次世代自動車(ハイブリッド車(HV)、電気自動車(EV))を令和4年度以降導入することにより、温室効果ガスの排出を削減し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。 併せて、電気自動車の導入に伴い、上下水道局庁舎内において、充電設備の拡充を図る。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標			R3実績		R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
						0.55人	0人		-			-				
						4,389千円	2台	R4目標	R4実績			目標達成済		R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
						R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	9.38%							9.38%
0.13人	0人	R5目標	R5実績	14.71%												
1,040千円																
評価者	経営課長 草薙 秀夫	どのように貢献したか	電気自動車市場が発展途上であるため、現場等のニーズに合った車両が乏しい。市場の動向を見つつ、適切な車両選びに努める。													

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)										
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目										
412	管財課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 0千円 0千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 1,416千円 42千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.00人 0人 0千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.58人 0人 4,641千円	項目名 利用申請所属数 ICカード発行枚数 利用回数 実績 30所属 43枚 126回	指標名 公務におけるシェアサイクルの活用実証	目標設定の考え方・根拠		R3目標 R3実績 - - R4目標 R4実績 3,200回(8月～3月:400回/月) 126回 R5目標 R5実績 480回	R4目標値が未達成の理由・分析 目標回数は、本庁含管財課自動車管理事務所貸出を行った過去5年の公用自転車の利用実績から想定したものであった。市内75ヶ所に設置されているシェアサイクルステーションからの利用については、現在検証を進めている。	C	公務による市内シェアサイクルステーション活用をインフォーマーショを通じて利用促進しているが、公務におけるシェアサイクル利用数は伸び悩んだ。今後は実証実験の検証を進める。	R4年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに										
		優先	自治事務				特になし																	
		根拠法令	なし				事業の目的及び具体的な内容 ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の一環として、電動アシスト付き自転車の利点を活かし、公用車に替わるシェアサイクル活用の可能性について検証する。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み																
			期間					R4 ~					どのように貢献したか											
		評価者	管財担当参事 高橋 国弘				利用を継続希望する所属に関しては、各所属での予算措置が適当と思われる。	ゼロカーボンシティ実現に向けた取組																
		412	防犯交通安全課				実施計画ランク	事業の種類別					R3予算現額 R3決算額 0千円 0千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 7,865千円 6,919千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.00人 0人 0千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.26人 0人 2,081千円		項目名 LED照明灯に改修した施設数 実績 14施設	指標名 既存照明灯をLED照明灯に改修した施設数	目標設定の考え方・根拠		R3目標 R3実績 - - R4目標 R4実績 13施設 14施設 R5目標 R5実績 2施設	R4目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	S	13施設の予定であったが14施設改修できた。改修により、二酸化炭素の排出量及び消費電力量の削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に大きく寄与できた。	R4年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を
							最優先	自治事務									交換する灯具を見直し、改修費用を抑えた。							
							根拠法令	所沢市自転車駐車場条例									事業の目的及び具体的な内容 市営自転車駐車場に設置されている経年劣化した既存照明灯をLED照明灯に改修するものである。これにより、二酸化炭素の排出量及び消費電力量の削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
								期間										R4 ~ R8					どのように貢献したか	
							評価者	防犯交通安全課長 足立 啓									灯具の金額が高騰していることから灯具のデザイン重視ではなく照度を重視して改修していく。	LED照明にしたことで二酸化炭素の排出量及び消費電力量の削減が図れた。						
412	マチごとエコタウン推進課			実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 64,713千円 64,551千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 64,757千円 64,610千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 2.66人 0人 21,227千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 1.14人 0人 9,122千円	項目名 電力調達方針に基づき公共施設における環境にやさしい電力の利用推進 市域における再生可能エネルギー普及推進 所沢版RE100の推進 実績 高圧施設107件、低圧施設350件でCO2排出係数の低い電力を調達した。 市民向け出前講座や市民フェス等イベントで化石燃料に依存しない電力への切替の重要性を周知した。 本庁舎を含む17の施設で、毎月25日に「RE100の日」を実施した。	指標名 市域における再生可能エネルギー設備の総出力	目標設定の考え方・根拠		R3目標 R3実績 40.1MW 41MW R4目標 R4実績 41.3MW 43.1MW R5目標 R5実績 42.5MW	R4目標値が未達成の理由・分析 目標達成済		A			市域の再生設備の総出力は成果目標を達成している。公共施設の環境にやさしい電力調達についても、(株)とこざわ未来電力からCO2排出係数の低い電力供給を受けることで電力使用の脱炭素化を図るとともに、地産地消によるエネルギーの効率的利用の推進を図った。契約施設数では、高圧公共施設が107件、低圧公共施設が350件と指定管理施設も含め切替が進んでいることが窺える。「RE100の日」については、昨年度に引き続き実施し、市民等への再生エネルギーの普及啓発効果を高めた。	R4年度に改善した点					7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
				最優先	自治事務				市域に太陽光発電設備の更なる普及を図るため、初期費用ゼロ円太陽光の活用を推進する補助金制度を令和5年度から新たに開始できるよう制度設計・要綱改正を行った。															
				根拠法令	-				事業の目的及び具体的な内容 市が率先して環境にやさしい電力を利用するなど、再生可能エネルギーの普及推進を図ることにより、市域における温室効果ガス排出量の削減につなげていくものである。 【主な取組】 ・メガソーラー所沢、フロートソーラー所沢の運営 ・小中学校屋根貸し太陽光発電事業 ・公共施設における環境にやさしい電力の利用推進 ・再生可能エネルギーの普及推進 ・所沢版RE100の取組み 毎月特定の1日を「RE100の日」とし、その日の使用電力を再生可能エネルギー100%にすることで、再生可能エネルギーの普及啓発を図る。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み														
					期間					H30 ~								どのように貢献したか						
				評価者	マチごとエコタウン推進課長 齋藤 伸宏				市内の太陽光発電設備の更なる普及及び環境にやさしい電力の利用促進を図るため、(株)とこざわ未来電力と連携し、再生設備の導入促進策の検討や市民・事業者への電力切替を推進していく。	CO2排出係数の低い(株)とこざわ未来電力から電力を調達することで、市の施設から排出される電力由来のCO2を大幅に削減した。														

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
				会計	投入コスト		活動実績(R4)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題			
412	建設総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	LED化したことにより、使用電力量が減少して環境への負担が軽減され、また、照度が高くなったことにより、ロータリー利用者の快適な利用を図ることができた。	R4年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を		
		優先	自治事務	0千円	0千円	対象灯数を再確認し、営繕課へ工事施工依頼をする 完了検査日	使用電力量の削減量 (水銀灯の使用電力量 - LED灯へ改修後の使用電力量)	使用電力量の削減を当該事業の効果のひとつとしていることから指標とする。	R4年度に改善した点						
		道路照明灯(デザイン灯)LED化整備事業	根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)							実績		R3目標	R3実績
			所沢市道路照明灯設置基準	23,672千円	21,779千円	R4目標	R4実績								
			事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合			R4目標							
		平成27年に実施した道路照明灯LED化事業により、令和5年3月末時点で95.6%をLED化している。しかし、景観に配慮したデザイン灯は水銀灯等を使用しており、LED化事業の対象外としたためLED化していないため、令和2年12月末以降、水銀灯の製造、輸入の禁止を受けLED灯に改修するものである。これにより、使用電力量及び維持管理費を削減し、また、照度が高くなることにより、歩行者、自転車及び車両の夜間交通の安全確保及びより快適な道路利用を図るものである。	0.00人	0人	R4目標値が未達成の理由・分析	R4実績									
		期間	R4 ~ R7	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	令和4年4月7日 令和4年10月4日	R5目標					目標達成済		評価者	
		0.30人	0人		63192 kWh			建設総務課長 奈良 信和		令和5年度から7年度にも、デザイン灯のLED化を計画しており、予算の範囲内で改修を実施していく。	水銀灯からLED灯へ改修したことにより、使用電力量を約34%削減できた。				
		2,401千円	0人						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
412	教育施設課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業の目標達成に向けて、遅延なく成果が得られている。	R4年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
		最優先	自治事務	0千円	0千円	設計実施件数	設計の進捗率	太陽光発電設備を屋上に設置するために必要な設計図書の作成を進捗率の指標とする。	R4目標値が未達成の理由・分析						
		学校施設太陽光発電設備設置事業	根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)							実績		R3目標	R3実績
			-	21,340千円	18,700千円	R4目標	R4実績								
			事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合			R4目標							
		令和2年11月にゼロカーボンシティを宣言し、学校施設においても温室効果ガスの排出量の削減に向けて、省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用を進めていく必要がある。こうした状況を踏まえ、屋上防水改修工事を実施する学校に速やかに太陽光発電設備を設置することにより、再生可能エネルギーの活用の推進を図るものである。	0.00人	0人	R4目標値が未達成の理由・分析	R4実績									
		期間	R4 ~ R5	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R4 2校 R5 1校	R5目標					目標達成済		評価者	
		0.35人	0人		100.0%			教育施設課長 遠山 秀仁		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				
		2,801千円	0人		100.0%				学校や他工事との調整を図りながら、事業を進めていく。	再生可能エネルギーの活用の推進を図った。					
412	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	太陽光発電の設置により、再生可能エネルギー活用及び非常時電源の確保が可能となる。このことは、市が目指しているゼロカーボンシティ宣言の推進につながる。	R4年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
		最優先	自治事務	0千円	0千円	設計委託料予算額 設計委託料決算額	設計委託料予算の執行率	執行率の低さを目標とすることは、予算の抑制に繋がる。低すぎる場合は予算額の設定が高いことになり、今後の予算の組み立てを考える上での問題提起の要素の一つとなる。	R4目標値が未達成の理由・分析						
		小手指公民館太陽光発電設備設置事業	根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)							実績		R3目標	R3実績
			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	6,615千円	5,500千円	R4目標	R4実績								
			事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合			R4目標							
		令和2年11月のゼロカーボンシティ宣言に基づき、一層の再生可能エネルギーの導入及び低炭素化を推進している。その一環として、災害時に現地対策支部となる、まちづくりセンター(公民館)において、今回、短期予防保全計画による屋上防水シート改修に合わせ、太陽光発電設備の設置を行うことにより、平常時の再生可能エネルギー活用及び災害時における非常用電源の確保を図るものである。	0.00人	0人	R4目標値が未達成の理由・分析	R4実績									
		期間	R4 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	6,615,000円 5,500,000円	R5目標					目標達成済		評価者	
		0.08人	0人		95.0%			社会教育担当 参事 糟谷 苗美		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				
		640千円	0人		95.0%				工事の進捗を図るとともに、補助金の交付を検討する。	再生可能エネルギーの活用の推進を図った。					

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	
412	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	LED化したことで照度が上がり、市民が安全にスポーツを楽しめる環境整備と同時に省電力化による環境配慮を促進した。	R4年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
		重要	自治事務	6,312千円	6,312千円	市民体育館R3年度年間電気料	電気料削減比率 (当年電気料÷工事前年電気料×100) 市民体育館30年度年間電気料28,145,180円	照明灯をLED化することで、電気料は50%以上の削減が見込めるところではあるが、設置個所のみ電気料が算出できず、館(市民体育館と総合運動場)全体となってしまうため、そのことを考慮し、70%とした。	R4年度に改善した点					
		根拠法令	スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)	市民体育館R4年度年間電気料						R3目標		R3実績
		事業の目的及び具体的な内容	所沢市民体育館、地区体育館の照明として水銀灯が使用されていたが、LED化することで照度を上げ、利用者の利便性を図ると共にCO2排出量の削減及び光熱費等維持管理の縮減を図った。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R4目標	R4実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		期間	H30 ~ R11	0.02人	0人	20,756,506円	70.0%	73.7%	今後のCO2排出量の削減及び光熱費等維持管理の縮減を図っていく。					
		160千円	0人	29,086,967円	70.0%	103.3%	どのよう貢献したか							
		560千円	0人	29,086,967円	70.0%	103.3%	世界的な燃料価格の高騰による、電気料金の値上げが大きく影響している。また、令和4年度から徐々に利用率が回復してきたことに伴い、利用時の冷暖房利用が増えたことも要因の一つである。	利用者利便性を図り、CO2排出量の削減及び光熱費等維持管理の縮減に貢献した。						
評価者	スポーツ振興課長 三上 佳明													
413	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R4年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を	
		最優先	自治事務	378,763千円	236,866千円	清柳橋上部工事(継続費)	埼玉県、清瀬市と共同で行う橋りょう改築と合わせて接続する周辺道路整備に係る工事計画に対する進捗率。	橋りょうの改築にあたり、各年度で計画した業務がどれくらい進捗できたかで評価する。	R4年度に改善した点					
		根拠法令	道路法、河川法、土地収用法	R4予算現額	R4決算額(見込み)	取得道路工事						R3目標		R3実績
		事業の目的及び具体的な内容	本市を流域に持つ柳瀬川については、埼玉県が河川整備を進めている。しかし、東川との合流点前後区間は、所沢市と清瀬市が管理者である清柳橋が妨げとなり、これまで進めてきた柳瀬川と東川の河川整備の効果が十分に発揮できない状況である。このため、今後の浸水被害の軽減を図るために、道路管理者である所沢市と清瀬市及び河川管理者である埼玉県とともに当該橋りょうの改築を進めるとともに、接続する市道1-900号線の道路改良工事に取り組むものである。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R4目標	R4実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		期間	H30 ~ R7	1.59人	0人	令和3年6月30日着工 令和4年9月21日完了	100.0%	68.3%	橋りょう改築を共同で進める埼玉県及び清瀬市と綿密に協議するとともに調整を図り、工事を滞りなく進めていく。					
		12,688千円	0人	令和4年7月15日着工 令和5年3月30日完了	100.0%	100.0%	どのよう貢献したか							
		1.71人	0人	令和4年8月23日着工 令和5年3月30日完了 計画延長278.961m 実施延長36.9m	100.0%	100.0%	目標達成済	浸水被害の軽減を図り、気候関連災害や自然災害に対する強靱性及び適応の能力を強化することを図った。						
13,683千円	0人		100.0%	100.0%			道路建設課長 岡村章一							
422	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	みどりのふれあいウォークについては、新型コロナウイルスの影響が残っていた時期でありながら、規模を縮小したうえで開催することができた。また、参加者数も目標には届かなかったが、1,000名を超える規模となった。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
		重要	自治事務	2,752千円	1,374千円	みどりのカーテンコンテスト 応募数	みどりのふれあいウォーク参加人数	ふるさとみどりの啓発事業の中で、最も大きく、又、市内住民のみならず、西武鉄道沿線等の近隣からも参加する一大イベントとなっているため、参加人数を指標とする。なお、令和元年度以降は、実情に即し毎年2,000人を目標とすることとした。	R4年度に改善した点					
		根拠法令	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市緑の基金条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)	啓発用種子袋の配布数						R3目標		R3実績
		事業の目的及び具体的な内容	本市のブランドである豊かなみどりの保全に対する市民の理解と意識の向上を図るため、「みどりのふれあいウォーク」を開催する。また、イベントの際に緑の募金運動を実施し、参加者から寄附金を募る。さらに、夏場の省エネの推進に向け「みどりのカーテン」を市民に広く実施してもらうため、朝顔とゴーヤの種子袋を配布するとともに、みどりのカーテンコンテストを開催する。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R4目標	R4実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		期間	H18 ~	1.77人	0人	28件	2,000人	0人	新型コロナウイルス感染症の感染防止を図るため、イベントの規模を縮小して実施したことに加え、大勢が参加するイベントへの抵抗感から参加者数が伸びなかったと思われる。					
		14,125千円	0人	8,000袋	2,000人	1,363人	どのよう貢献したか							
		1.95人	0人	1,363人	2,000人	2,000人		今後のウォーク開催にあたっては、共同開催をはじめ関連団体と協議しながら、コロナ以前の規模での開催に向けた検討を行う必要がある。						
15,604千円	0人		2,000人	2,000人		みどりのふれあいウォークやみどりのカーテンコンテストを通じて、健康管理や緑の創出・意識醸成に寄与した。								
評価者	みどり自然課長 加賀屋 浩介													

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)								
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目								
422	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)									
		優先	自治事務											6,473千円	6,240千円	講座の開催回数 パートナー登録団体数 みどりのパートナー活動補助金	みどりのパートナー登録者数	みどりのパートナー登録者の増加が、みどりの保全及び創出につながることから、登録者数を指標とする。	R4年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を		
		根拠法令	自治事務											8,240千円	7,486千円							
		みどりのパートナー活動推進事業	事業の目的及び具体的な内容											R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	S	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)
		期間	H24 ~											0.92人	0人	1,405人	1,501人					
		7,342千円	7回											60団体	4,334千円	1,410人	1,517人	達成	目標は達成している。緑化活動を行うパートナーに対して、草花の知識習得のため、緑化講座を開催した。保全に係るパートナーに対しては、基礎的知識や技術を高めるため、3年1サイクルで習得を図る育成講座を開催している。受講者から高評価をいただいております。令和3年度は3巡目となる初級講座、令和4年度は中級講座を実施した。令和5年度は里山管理指導員派遣を行い、みどりのパートナー団体が活動する現地に赴き、実地に即した指導を行う予定である。	15 陸の豊かさを守ろう		
		0.85人	0人											R4目標	R4実績	1,415人		達成	登録者数の目標は達成はしているものの、高齢化が進んでおり、活動の継続が困難な団体も出てきている。今後の講習では、世代交代に関するテーマも取り上げ、後継者を育てる取組の手法などを通じて、参加者の認識を促していく。	17 パートナーシップで目標を達成しよう		
6,802千円	0人	R5目標	R5実績			達成	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか														
							評価者	みどり自然課長 加賀屋 浩介	講座を通じた環境教育の実施、官民のパートナーシップによるみどりの保全と創出を通じた自然環境の確保を行った。													
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)									
		優先	自治事務											425千円	155千円	みどりの審議会の開催回数 みどりの基本計画の施策の進捗状況の審議回数 生物多様性ところざわ戦略の施策の進捗状況の審議回数	地域制緑地の指定件数(指定の拡大も含む)	みどりの保全には、土地所有者の協力のもと、土地利用に一定の制限を加える地域制緑地の指定が効果的なことから、指定件数を指標とした。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
		根拠法令	自治事務											425千円	105千円							
		みどりの基本計画推進事業	事業の目的及び具体的な内容											R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	S	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)
		期間	H21 ~											1.18人	0人	6	8					
		9,416千円	1回											1回	1回	9	10	達成	目標は達成している。引き続き、みどりの基本計画の方針に基づき、地権者の理解を得ながら地域制緑地の指定、及び拡大を推進する。加えて、新規の指定対象についても検討していく。また、みどりの審議会において、みどりの基本計画に基づく施策や事業の進捗管理を行うことにより、みどりの保全や創出に係る施策や事業の推進、展開を図る。	13 気候変動に具体的な対策を		
		1.10人	0人											R4目標	R4実績			達成	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	15 陸の豊かさを守ろう		
8,802千円	0人	R5目標	R5実績			達成	みどりの基本計画の方針を踏まえながら、地域制緑地の新たな候補地について検討を進めていく。	どのように貢献したか														
							評価者	みどり自然課長 加賀屋 浩介	緑地の保全、創出を通じて、自然環境や気候変動への貢献、良好な住環境の創出を行った。													
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)									
		重要	自治事務											91,818千円	86,657千円	業者委託による剪定・伐採等の管理 みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理 市民参加による保全管理作業	管理作業実施面積	業者委託による剪定・伐採等の管理面積 + みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理面積 + 市民参加による保全緑地管理作業面積を指標とする。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
		根拠法令	自治事務											123,265千円	116,181千円							
		緑地管理整備推進事業	事業の目的及び具体的な内容											R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	S	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)
		期間	H6 ~											2.33人	0人	37ha	40.71ha					
		18,593千円	21.81ha											20.83ha	1ha	37ha	43.64ha	達成	管理の必要な緑地は毎年増加しているものの、特に緊急性の高い箇所から順番に管理を実施するなど、効率的な保全管理を図ることで目標を達成することができた。	13 気候変動に具体的な対策を		
		2.15人	0人											R4目標	R4実績			達成	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	15 陸の豊かさを守ろう		
17,204千円	0人	R5目標	R5実績			達成	緑地の管理には、剪定作業や枯損木等の伐採作業が必要不可欠であることから、増加し続ける管理地の維持のため、適切な予算額の確保と造園会社の育成に努めていくものとする。	どのように貢献したか														
							評価者	みどり自然課長 加賀屋 浩介	緑地の管理・整備を通じて、地球温暖化防止等の森林の公益的機能の発揮に寄与した。													

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)				
		最優先	自治事務		68,030千円	67,275千円									植生調査	保全配慮地区における地域制緑地の指定面積	目標設定の考え方・根拠	
		根拠法令	都市緑地法、ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、ふるさと所沢の緑地の寄附に関する要綱		R4予算現額	R4決算額(見込み)												みどりの公有地化
		里山保全地域等指定整備事業	事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合									R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	
			市内に残された貴重な緑地を保全し未来の子どもたちにふるさと所沢のみどりを継承するため、緑地保全制度の指定を行うとともに、適切に管理するための方針となる保全管理計画を策定する。また、相続や開発等により消失の恐れがある緑地について、土地の取得(寄附受入を含む)により、公有地化を行う。		1.48人	0人									実績	85ha		96.30ha
					11,810千円	0人									R4目標	R4実績		
		期間	H24 ~		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									165,884㎡	17,298㎡	90ha	103.38ha
		1.50人	0人	R5目標		95ha												
		12,003千円	0人															
<p>目標は達成している。引き続き、豊かなみどりを守り育て、未来の子どもたちに継承していくため、緑地保全制度の指定、及び公有地化によるみどりの保全の取り組みを進める。</p> <p>R4年度に改善した点</p> <p>北岩岡・下富特別緑地保全地区を指定するにあたって、関係地権者の同意を得るために丁寧な住民説明と交渉を行った。</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p> <p>事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み</p> <p>どのよう貢献したか</p> <p>相続等を理由とした緑地売却希望が増加傾向にあり、それに伴い購入費や維持管理費も増加するため、予算拡大が必要となる。</p> <p>緑地保全制度の指定や公有地化により、自然環境の維持や気候変動の抑制、良好な住環境の創出に貢献できた。</p> <p>評価者</p> <p>みどり自然課長 加賀屋 浩介</p>																		
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)				
		重要	自治事務		3,469千円	749千円									保存樹木管理の補助件数	ふるさとの樹の指定本数	目標設定の考え方・根拠	
		根拠法令	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市保存樹木等支援事業補助金交付要綱		R4予算現額	R4決算額(見込み)												ふるさとの樹管理の補助件数
		保存樹木等指定促進事業	事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合									R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	
			市街地やその周辺のみどりの永続的な保全を図るため、保存樹木等に対する損害賠償責任保険への加入や保全管理費用の助成による所有者への支援を行う。また、保存樹木等の指定制度について市民に周知し、新たな保存樹木等の指定を行うとともに、市民の保存樹木等の保全に対する関心を高める。		0.83人	0人									実績	50		30
					6,623千円	0人									R4目標	R4実績		
		期間	H27 ~		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									6件	5件	50	29
		0.90人	0人	R5目標		50												
		7,202千円	0人															
<p>補助金制度は、所有者から一定の評価は得ているが、管理には補助対象外の経費も伴う。このため管理に伴う所有者負担が大きいため、指定登録予定数に至らないばかりでなく、登録が解除され、伐採される場合がある。</p> <p>R4年度に改善した点</p> <p>市に業者登録のある造園業者に対し、保存樹木等の所有者へ支援事業制度の周知を依頼した。</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p> <p>事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み</p> <p>どのよう貢献したか</p> <p>市街地にある、指定が掛かっていない樹木の調査を行い、保存樹木制度について更なる周知を図り、新規発掘に努める。</p> <p>保存樹木等管理の補助を通じて、まちの景観の向上や生物の生息環境の維持につながった。</p> <p>評価者</p> <p>みどり自然課長 加賀屋 浩介</p>																		
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)				
		重要	自治事務		855千円	839千円									芝生維持管理実施園数	芝生の維持割合	目標設定の考え方・根拠	
		根拠法令	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例		R4予算現額	R4決算額(見込み)												芝生の管理が非常に難しいことから、新規の芝生は実施せず、既存の芝生の維持管理により管理手法の検証をすることとしたもの。
		グリーンカーペット促進事業	事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合									R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	
			公共施設を率先して緑化し、暑さ抑制を図ると共に、「まちなかのみどり」を積極的に創出していくため、子どもたちが多くの時間を過ごしている園庭・校庭の一部を芝生化するものである。		0.78人	0人									実績	50㎡		63㎡
					6,224千円	0人									R4目標	R4実績		
		期間	H30 ~		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									4園	90%	92%	93%
		0.75人	0人	R5目標														
		6,002千円	0人															
<p>目標は達成しているが、保育園の園庭は芝生を良好な状態で維持管理することが非常に難しいことから、令和5年度以降も、保育園園庭における芝生の維持管理方法について、検証を重ねる予定である。</p> <p>R4年度に改善した点</p> <p>芝生を維持管理するための取り組みとして、必要に応じて、給水設備を設置した。</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p> <p>事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み</p> <p>どのよう貢献したか</p> <p>芝生の適切な維持管理には専門的な技術、知見が必要となるため、保育園園庭における芝生の維持管理方法について、引き続き、検証を重ねていく。</p> <p>園庭の芝生化により、ヒートアイランド現象の緩和と住みやすいまちづくりに貢献した。</p> <p>評価者</p> <p>みどり自然課長 加賀屋 浩介</p>																		

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由		現状の課題					
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを						
		重要	自治事務		165千円	149千円								球根配布数(公共施設向け)	球根配布施設数	みどりのまちなみ景観の創出のため、市内各所の施設に球根を配布しており、配布先の施設数を指標としている。			
		根拠法令	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市緑の基本計画		R4予算現額	R4決算額(見込み)											297千円	288千円	イベントにおける苗木配布数(市民向け)
		事業の目的及び具体的な内容	公共施設に球根を配布し、施設管理者や利用者の協働による施設緑化を進めるほか、公共施設の新規整備や改修等にあたり、公共施設ガイドラインに基づく緑化指導を行い、街中における生物生息空間の保全・再生・創出を進める。また、市民に花苗や苗木を配布し、エコロジカルネットワークの形成やみどりへの意識向上を図る。		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合								0.65人	0人		R3目標	R3実績	
		期間	H11 ~		5,187千円	0人								実績	46		45	一施設において、植栽場所の確保が出来ず、球根配布・植栽ができなかったため。	
		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		0.75人	0人								3,000個	46		45		
		6,002千円	0人		96本	R5目標								46					
		評価者	みどり自然課長 加賀屋 浩介		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	従来よりも、ヒアリングを前倒しして実施し、必要に応じて、施設と情報交換をすることで、植栽箇所数の減少防止に努めていくほか、新たに配布できる施設がないが、各施設と協議していく。								みどりの創出を通じて、生物多様性の保全や愛着の持てる、住み続けたいと感じられるまちづくりに貢献できた。					
		どのように貢献したか																	
		423	みどり自然課		実施計画ランク	事業の種類別								一般	R3予算現額		R3決算額	項目名	指標名
重要	自治事務			627千円	627千円	関係課数	みどりコトコ・プロジェクト(関連事業)数	水とみどりがつくるネットワーク計画は、関係課等が横断的な取り組みを行うことで、ネットワーク構築の実現を目指すものであることから、進捗管理を行うみどりコトコ・プロジェクト(関連事業)数を指標とする。											
根拠法令	所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略、所沢のみどりの基本計画、所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画			R4予算現額	R4決算額(見込み)				0千円	0千円	当該年度に完了した関連事業								
事業の目的及び具体的な内容	水とみどりがつくるネットワーク計画は、水やみどりとまちのにぎわいや魅力を結ぶ散策路を設定し「人を中心にしたまちづくり」の実現を目指すものとなる。関連事業を相互に連携させ、進捗確認を行いながら、狭山丘陵と中心市街地、ところざわサクラタウンなどの拠点の運動性を意識した、散策路整備や魅力発信を推進する。			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.50人	0人		R3目標	R3実績		R4目標値が未達成の理由・分析							
期間	R2 ~			3,990千円	0人	実績	60事業		89事業	達成									
R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合			0.60人	0人	17課	60事業		93事業										
4,801千円	0人			1回	R5目標	60事業													
8事業	60事業			評価者	みどり自然課長 加賀屋 浩介	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	短期事業(1~2年内の実施事業)があるため、関連事業は年々減少していく。このため、新規事業の中から計画に密接に関連する事業を分かりやすく吸い上げる手法を構築する必要がある。		関係事業の進捗を共有し、自然環境への意識の醸成やまちの活性化に寄与した。										
どのように貢献したか																			
423	みどり自然課			実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額		R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			S	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
		最優先	自治事務	5,200千円	4,367千円		実のなる木の導入		整備箇所数					事業用地の調査・検討、貸借契約、設計・工事委託、開設等の事務を経て、年に一箇所の整備を目標とする。					
		根拠法令	所沢のみどりの基本計画、所沢市まちごとエコタウン推進計画	R4予算現額	R4決算額(見込み)			5,200千円										4,997千円	雨水浸透施設の設定
		事業の目的及び具体的な内容	まちなかの低未利用地について、市民の憩いの場を整備するとともに、みどりの貴重なまちなかの動植物の生息、生育地を創出するものである。また、整備により無秩序な開発の抑制、良好なまちなみ景観や生活環境の形成、生物多様性への貢献、ヒートアイランド現象等の環境負荷の低減、雨水流出の抑制等が期待できるものである。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合		0.55人	0人	R3目標									R3実績	
		期間	R3 ~	4,389千円	0人		実績	1箇所	1箇所									達成	
		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.90人	0人		4本	1箇所	1箇所										
		7,202千円	0人	1箇所	R5目標		1箇所												
		評価者	みどり自然課長 加賀屋 浩介	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	引き続き、取りこぼしのないようスケジュール管理を徹底し、年に1箇所の整備を目指していく。		みどりの貴重なまちなかにおいて、生物の生息・生育空間の担保と憩いの場を創出した。												
		どのように貢献したか																	

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)														
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目														
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	田植え作業実施 稲刈り作業実施	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	評価理由	R4年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を														
		重要	自治事務		14,237千円	13,333千円									貸借契約、公有地化により水田を保全・担保した面積 地元・関係団体との協働により実施可能な耕作範囲について、市で地権者より借り受け、または公有地化により保全・担保した面積を目標とする。	R4年度に改善した点	15 陸の豊かさも守ろう											
		水田景観保全事業	根拠法令		R4予算現額	R4決算額(見込み)												実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか					
			ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢のみどりの基本計画		636千円	909千円																		0.35ha	0.38ha	R4目標	R4実績	
			事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合																						1回
			上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内に残されている貴重な水田を保全し、良好な都市環境の維持と多様な生物の生息・生育空間の確保を図るとともに、豊かな里山の景観を引き継いでいくことを目的とするものである。		0.80人	0人																		1回	0.44ha			
		期間	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	11,763千円												1.47人	0人	R5目標	R5実績	評価者	みどり自然課長 加賀屋 浩介					
		R3 ~	6,384千円		0人																			0.44ha	0.44ha			
		423	公園課		実施計画ランク	事業の種類別												一般	R3予算現額	R3決算額	用地購入	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	評価理由	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
					最優先	自治事務													476,809千円	476,267千円								
北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	根拠法令			R4予算現額	R4決算額(見込み)	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか																	
	都市公園法・都市緑地法			348,476千円	342,678千円							2,323.18㎡	3600.08㎡	3222.12㎡														
	事業の目的及び具体的な内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合										2,323.18㎡	2,323.18㎡												
	北秋津・上安松地区は、所沢のみどりの基本計画において、みどりの保全を重点的に推進する北秋津周辺保全配慮地区に位置付けられている。本地区では、土地区画整理事業を基本とした、まちづくり事業が行われており、地区内には柳瀬川段丘崖の斜面林や、平地林のまとまりのある貴重なみどりが存在している。本事業は、これらのみどりを保全するため、令和2年度に都市緑地として都市計画決定した用地を取得するとともに、みどりの保全及び管理を行うものである。			1.95人	0人							2856.84㎡	2856.84㎡															
期間	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合	9,602千円	1.20人	0人	R5目標	R5実績	評価者	公園課長 相沢 渉																	
R3 ~ R8	15,561千円			0人								2856.84㎡	2856.84㎡															
423	公園課			実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	支援件数	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	評価理由	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを												
				-	自治事務		0千円	0千円									クラウドファンディング支援件数		緑地保全費用等をクラウドファンディングで広く支援を募る事業であり、その総支援件数を目標としている。	R4年度に改善した点								
		北秋津・上安松地区都市緑地保全事業(クラウドファンディング)	根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)		実績	R3目標										R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか					
			都市公園法、都市計画法	73,903千円	44,471千円																			1,211件	0千円	0千円		
			事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合																						1,211件	0千円
			北秋津・上安松地区都市緑地保全事業において貴重なみどりを保全するため、株式会社スタジオジブリから提供された、映画「となりのトトロ」背景画5点の複製画を作成し、購入型クラウドファンディングにより、用地購入費及び当該用地の維持管理費の支援を広く募ったものである。	0.00人	0人																			8,002千円	1.00人	0人		
		期間	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	8,002千円		1.00人	0人										R5目標			R5実績	評価者	公園課長 相沢 渉					
		R4 ~ R4	0千円	0人																				8,002千円	8,002千円			

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)														
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由		現状の課題													
431	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	食品ロスゼロのまち協力店の登録拡大を目指したが、目標を達成できなかった。協力店の候補店発掘、営業活動において、新型コロナウイルスの蔓延が原因で十分な活動ができなかったと考えられる。今後も周知啓発に向けて試行錯誤を続けていく。	R4年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに															
		-	自治事務										298千円	31千円	協力店店舗数	協力店舗数(累計)	食品ロス削減を実践する店舗を登録し、その取り組みを市民に紹介することで、食ロス削減の意識啓発を図るため、店舗数を指標とする。	R4目標値が未達成の理由・分析	市庁舎内で開催された食育月間イベントにて、食品ロスゼロのまち協力店を募集するポスターを掲示した。	12 つくる責任 つかう責任							
		根拠法令	マチごとエコタウン所沢構想、循環型社会形成推進基本法										R4予算現額	R4決算額(見込み)							304千円	2千円					
		食品ロスゼロのまち促進事業	事業の目的及び具体的な内容										R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	B	新型コロナウイルスの蔓延に伴い、積極的な協力店の発掘活動を行うことができなかった。今後の情勢を踏まえつつはありますが、R5年度は積極的な協力店の発掘活動を行っていきたい。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか					
			食品ロス削減を実践する店舗を「食品ロスゼロのまち協力店」として登録し、取組内容等を紹介したり、市ホームページ等で食材を無駄なく調理に使用するレシピを紹介することにより、食品ロスを削減し、「もったいないの心」の醸成とごみの減量を図る。																				0.70人	0人	255店	253店	家庭や事業所から排出される食品ロス削減を広く訴えることで、廃棄物の減量、もったいないの心の醸成に貢献した。
			会年職員等																				0人	R4目標	R4実績	260店	
			期間																				H27 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.51人	0人
		4,081千円	0人																								
		431	資源循環推進課										実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	マイボトルの持ち歩き推進のため、マイボトルに飲料を補充できる店舗の登録拡大を目指し、目標は達成した。今後も拡大しつつ、マイボトルのみならずマイ容器等の利用促進も周知していく。	R4年度に改善した点	12 つくる責任 つかう責任				
													-	自治事務										1,485千円	1,017千円	給水スポット設置数	とことこマイボトルスポット登録店舗数(累計)
根拠法令	所沢市マチごとエコタウン推進計画、所沢市一般廃棄物処理基本計画、プラスチック資源循環戦略			R4予算現額	R4決算額(見込み)	2,579千円	1,987千円																				
プラスチックごみ削減推進事業	事業の目的及び具体的な内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	A	目標達成済み	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか														
	本件は所沢市マチごとエコタウン推進計画における「もったいない」社会の形成に基づく事業である。本市におけるプラスチックごみの削減を行うため、マイボトルやマイバッグ等の推進により、市民の皆様が使い捨て製品に頼らないライフスタイルに変革することで、ごみの減量を図る。													0.70人										0人	10店	10店	コロナ禍によるテイクアウト等の利用者が増える中、事業者や市民に使い捨てプラスチック削減の意識の浸透を目指す。
	会年職員等													0人										R4目標	R4実績	15店	
	期間													R2 ~										R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.66人	0人
5,281千円	0人																										
431	資源循環推進課			実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	世界最大の資源物輸入国である中国の輸入規制に加え、世界的な新型コロナウイルス流行の影響で、リサイクル業界は依然として厳しい状況に置かれている。加えて市内での資源物の持ち去り等の事案も発生しており、従来の啓発活動だけでなく、事業を存続させる対策が必要である。	R4年度に改善した点	12 つくる責任 つかう責任													
				重要	自治事務																			69,524千円	56,456千円	集団資源回収量	集団資源回収率(集団資源回収量 / 家庭ごみ量 × 100)
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市集団資源回収事業報償金交付要綱	R4予算現額	R4決算額(見込み)										65,560千円	54,141千円											
		集団資源回収報償金交付事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合										実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	B	令和4年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって参加団体の活動が制限され、資源物の回収量が減少した。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか					
			集団資源回収事業実施団体(自治会・町内会、子ども会等)が資源物(新聞、雑誌・雑がみ、段ボール、古布、アルミ缶・スチール缶、紙パック、生きびん)を集団資源回収事業取扱業者に引き渡す活動に対し、市は資源物1kgあたり6円(生きびんは1本当たり6円)の報償金を交付し、ごみの減量と資源化の推進を図る。																				0.75人	0人	13.0%	11.1%	古紙市況が悪化し、協力業者の廃業や団体の撤退が危惧されるため、団体・協力業者双方への支援を行い事業継続と廃棄物の減量を図る。資源物の持ち去りについては、古紙回収業者とも連携して警備等を行い、市民が安心して古紙を出せるように対応を行う。
			会年職員等																				0人	R4目標	R4実績	13.0%	
			期間																				H3 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.46人	0人
		3,681千円	0人																								

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
431	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	粗大ごみの収集点数 再生可能家具の収集点数	再生家具の展示点数	再生可能な家具を資源物として活用した点数で示すことにより、ごみの減量成果がわかりやすくなるため、数値は前年度の実績を基にしている。	R4目標値が未達成の理由・分析	S	新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりテレワークが推奨され家庭で過ごす時間が増えたことにより増加していたと思われる家具等の回収量が減っているため、展示頒布できる再生家具の確保が難しくなっている。今後、回収量自体の増加が見込めないことから、再生方法を工夫しながら家具等の点数確保をしていく必要がある。	R4年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を					
		重要	自治事務		13,920千円	12,145千円							R3目標		R3実績	1,600点	1,579点		
		根拠法令	所沢市リサイクルふれあい館条例、所沢市リユース品頒布事務取扱条例、不用品登録事業事務取扱要綱		R4予算現額	R4決算額(見込み)							R4目標		R4実績	1,600点	1,721点		
		事業の目的及び具体的な内容	市民サービスの向上とリユースの推進を図るため、東西クリーンセンターにおいて実施していた粗大ごみ収集事業をリサイクルふれあい館において一元化し、「もったいないの心」推進事業の一環として実施していた「再生可能な家具の回収業務」も付加することにより、粗大ごみの収集から再生・頒布、廃棄までを一体的に行う。		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合							R5目標			1,700点			
		期間	H29 ~		5.96人	5人							実績		27,279点		1,717点		
					47,561千円	6人							R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	5.51人		44,091千円	
431	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	再生家具頒布申込者数 東所沢エコステーション利用者数 不用品登録者数	再生家具頒布申込者数 東所沢エコステーション利用者数 不用品登録者数	「もったいないの心推進事業」において、再生家具の申込者、資源物の持ち込み者数などを数値化することにより、わかりやすい設定と考える。数値の根拠は、前年度の実績をもとに算出している。	R4目標値が未達成の理由・分析	B	市民が持ち込んだ粗大ごみのうち、東部クリーンセンターからリサイクルふれあい館への搬出量が少ないため、再生できる家具量に影響がでていると思われる。今後は、東部クリーンセンターと連絡を密にし、粗大ごみの搬出量を増やす必要がある。	R4年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を					
		重要	自治事務		9,182千円	8,881千円							R3目標		R3実績	23,000人	23,578人		
		根拠法令	所沢市リサイクルふれあい館条例、所沢市リユース品頒布事務取扱条例、不用品登録事業事務取扱要綱		R4予算現額	R4決算額(見込み)							R4目標		R4実績	24,000人	22,594人		
		事業の目的及び具体的な内容	「もったいない心」を大切に、ごみの減量・資源化に取り組むとともに、循環型社会の形成のための3Rのひとつであるリユース及びリサイクルを暮らしに定着させる。 再生家具：粗大ごみとして排出された木製家具を手直した後、館内で展示のうえ抽選で月2回頒布。小型家具については常設頒布。東所沢エコステーションにて市民から持ち込まれる資源物を受け付けている。不用品登録：「もともます」「ゆずります」として登録された品物の情報提供		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合							R5目標			23,000人			
		期間	H15 ~		1.85人	6人							実績		15,879人		5人		
					14,763千円	5人							R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	1.00人		8,002千円	
431	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	リサイクルふれあい館及び東所沢エコステーション来館者数 講習会参加者数	リサイクルふれあい館の来館者数は、正面玄関の自動ドアカウンターによる。講習会参加者数は、3R講習会、包丁研ぎ講習会、生ごみ減量講習会による。	啓発施設であるリサイクルふれあい館及びリユース、リサイクル品の引き取り場所である東所沢エコステーションについて、一人でも多くの市民に施設の存在を知ってもらい、活用していただくことが目的であることから実績を基にしている。	R4目標値が未達成の理由・分析	A	新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたことにより、3R講習会や各種イベントが再開された。しかしながら、終息には程遠い状況であることから、引き続き市民の安全を確保しつつ、適切な事業周知を行う必要性を感じている。	R4年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を					
		重要	自治事務		6,730千円	4,150千円							R3目標		R3実績	50,000人	64,628人		
		根拠法令	所沢市リサイクルふれあい館条例、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		R4予算現額	R4決算額(見込み)							R4目標		R4実績	60,000人	63,388人		
		事業の目的及び具体的な内容	小学4年生社会科見学等見学者の印象に残る館内展示(遊び心を取り入れた)わかりやすい解説で環境学習を充実する。催事の企画開催(エコまつり、エコロ市、出張エコロ市)等による市民へのPR事業。市民フェスティバル等への積極的参加によるPR活動。館内展示のほか、ホームページや情報誌発行による情報提供の研究。暮らしの中で3R(Reduceリデュース=発生抑制、Reuseリユース=再使用、Recycleリサイクル=再生利用)を実践するための場として、おもちゃの病院や傘修理、各種講座等の開催。		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合							R5目標			60,000人			
		期間	H15 ~		1.50人	1人							実績		63,229人		159人		
					11,970千円	1人							R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	0.90人		7,202千円	

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題								
441	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を										
		重要	法定受託事務									23,297千円	22,355千円	有効調査項目 調査項目数	有効項目率 (有効調査項目数/調査項目数×100)	事務処理基準に基づき、大気汚染に係る計測・調査を行うことが目的となっているため、有効調査項目率を指標とする。 目標値としては、前年度維持を目標としたい。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
		根拠法令	大気汚染防止法									R4予算現額	R4決算額(見込み)						22,901千円	21,785千円	
		大気汚染状況の常時監視事業	事業の目的及び具体的な内容									R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか	
			硫黄酸化物・二酸化窒素・浮遊粒子状物質などの大気汚染物質について、本事業の法定受託事務処理基準である「環境大気常時監視マニュアル」等に基づき、市内5常時監視測定局(一般局:東所沢・北野・中富、自排局:航空公園・和ヶ原)において常時監視機器を用い、計測・調査を行う。大気に係る環境基準設定項目を中心として、大気汚染状況を常時監視し、大気汚染防止に係る施策の基礎資料とする。									0.83人	0人		100.0%	100.0%					
												6,623千円	0人		R4目標	R4実績					
												R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		52項目	52項目					100.0%
		期間	S60 ~									0.73人	0.15	R5目標		100.0%	評価者	環境対策課長 前田 亘一	大気状況を常時監視することにより、環境施策の参考となった。		
		441	環境対策課									実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
												重要	法定受託事務+附加								
根拠法令	大気汚染防止法			R4予算現額	R4決算額(見込み)	5,189千円	3,724千円														
有害大気汚染物質等モニタリング調査事業	事業の目的及び具体的な内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか									
	環境省が定める「事務処理基準(平成13年5月21日付環境省環境管理局長通知)」及び「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」等に基づき、市内2地点において調査を実施している。調査計画の作成(調査項目、調査日程等)調査の実施(12回/年)測定精度の審査、測定値(年統計値を含む。)の確定 調査結果の画・関係機関・市民等への情報提供			0.37人	0人		100.0%	100.0%													
				2,953千円	0人		R4目標	R4実績													
				R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		34項目	34項目					100.0%								
期間	H9 ~			0.32人	0人	R5目標		100.0%	評価者	環境対策課長 前田 亘一	大気中の有害大気汚染物質を測定監視することにより、直接的なSDGsへの貢献につながった。										
442	環境対策課			実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R4年度に改善した点	12 つくる責任 つかう責任								
				重要	自治事務																
		根拠法令	水質汚濁防止法、埼玉県生活環境保全条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)									1,488千円	1,606千円						
		水質規制対象事業所検査事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合									実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか	
			排水の状況や施設の管理状況など、法令に基づき、その遵守状況を検査する。検査計画の作成 対象事業所への立入検査の実施 採水した水質・施設の稼働状況・自主測定結果について規制基準との適合状況の確認 規制基準に適合しない事業所等への改善指導。また、立入検査により各事業所から公共用水域へ排出される汚濁物質を削減し、水質汚濁を防止する。	0.75人	0人										100.0%	100.0%					
				5,985千円	0人										R4目標	R4実績					
				R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										52事業所	52事業所					100.0%
		期間	S62 ~	1.14人	0人									R5目標		100.0%	評価者	環境対策課長 前田 亘一	各事業所からの公共用水域への水質汚濁を防止することにより、直接的なSDGsへの貢献につながった。		

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由		現状の課題				
444	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	公害苦情相談は、相談者の感覚に起因するものが多く、対応が困難で解決までに時間を要するが、今後も目標達成に努めていきたい。今後も、処理困難な案件が増加する事が推測されるが、より一層知識を深めて、相談者への適切かつ迅速な対応を図る必要がある。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを					
		重要	自治事務	2,859千円	2,502千円	苦情相談対応件数 苦情相談解決件数	苦情相談解決率 (解決件数/対応件数×100)	目標設定の考え方・根拠	R4年度に改善した点									
		根拠法令	公害紛争処理法	R4予算現額	R4決算額(見込み)							4,068千円		3,312千円				
		期間	S47 ~	事業の目的及び具体的な内容 騒音、振動、悪臭をはじめとする各種公害にかかる苦情相談を電話・メール・窓口等を通して受け付け、苦情発生源の調査、指導、助言等を行い解決を図る。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析						
					1.79人	1		94.1%	99.1%									
					14,284千円	78件	R4目標	R4実績										
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	77件	94.4%	98.7%									
		R5目標	R5実績	95.0%														
		444	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名			目標設定の考え方・根拠		B	参加に慎重な自治会・町内会も多いなか、参加人数は目標に到達しなかったものの、前年度に比べ参加者の大幅な増加がみられた。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう	
				重要	自治事務	7,889千円	6,911千円	ごみ回収実績 参加人数	環境美化活動における参加人数 (春・秋いずれかで3割の世帯から1人は参加してもらいたいという考えによる)			R3目標				R3実績		R4目標値が未達成の理由・分析
根拠法令	「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動実施要領			R4予算現額	R4決算額(見込み)	8,730千円	8,032千円											
期間	S57 ~			事業の目的及び具体的な内容 市民参加による市内全域での環境美化清掃活動を春、秋の年に2回実施することにより、快適な生活環境を確保する。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析								
					1.01人	0人		49,286人	30,094人									
					8,060千円	65.5t	R4目標	R4実績										
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	40,040人	49,762人	40,040人									
R5目標	R5実績			50,346人														
444	生活環境課			実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、目標には至らなかったとはいえ、前年度を上回る実績を残すことができた。			R4年度に改善した点		4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう
				重要	自治事務	12,727千円	11,350千円	委嘱人数 事業参加延べ人数	環境推進員1人あたりの活動回数 を行うと期待したもの	R3目標	R3実績					R4目標値が未達成の理由・分析		
		根拠法令	所沢市環境推進員設置要綱	R4予算現額	R4決算額(見込み)	12,750千円	11,874千円											
		期間	H8 ~	事業の目的及び具体的な内容 ごみ減量・リサイクル・および地域での環境美化を推進し、市民の環境保全に対する意識を高め、理解を深めることにより、健康で潤いのある生活環境を作る。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析								
					0.77人	0人		6回	3回									
					6,145千円	1,052名	R4目標	R4実績										
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	4,807名	6回	4.6回									
		R5目標	R5実績	6回														

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)																		
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		事業自体が貢献する項目																	
444	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)																			
		重要	自治事務		R4予算現額	R4決算額(見込み)								指導箇所 改善箇所 改善率	数値	改善箇所÷指導箇所	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを														
		あき地の雑草除去指導事業	根拠法令		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合													実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	年々高齢化や金銭的理由等によりあき地の除草を行うことができない所有者が増えているなかで、一定の実績をあげることができた。	11 住み続けられるまちづくりを								
			所沢市あき地の雑草除去に関する条例		2.06人	0人																			75箇所 59箇所 78.7%	100%	82.8%	土地所有者が死亡してしまっている場合、他市に公用申請を行うなどして相続人を探し出し指導文書を送付した。				
			事業の目的及び具体的な内容		16,439千円	0人																							R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	100%	高年齢化や相続放棄、金銭的理由等であき地の除草作業を行うことができない所有者がいる。
			あき地が適正に管理されずに雑草が繁茂すると、火災、犯罪の発生、害虫の発生、ゴミの不法投棄などの原因になることから定期的にあき地の雑草繁茂状況を調査し、繁茂状況により土地の所有者(管理者)に対し、雑草の除去を行うよう指導する。		1.72人	1人																										
		期間	S44 ~		13,763千円	0人														100%			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか								
		評価者	生活環境担当 浅見 仙隆																				所有者の理解や協力がなければ改善が進まないため、粘り強く土地所有者に訴えかけていくことに努める。	土地所有者の協力により目的を達成した。								
		444	生活環境課		実施計画ランク	事業の種類別													一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)				
					重要	自治事務														R4予算現額	R4決算額(見込み)								くみ取り件数 くみ取り量 くみ取り手数料	衛生側面からの納得度	(くみ取り件数 - くみ取り作業への苦情件数) ÷ くみ取り件数	R4年度に改善した点
一般家庭生活廃水くみ取り事業	根拠法令			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	成果指標の目標は達成しており、継続的な成果が得られている。	11 住み続けられるまちづくりを																					
	所沢市一般家庭生活廃水くみ取りに関する条例			0.37人	0人							742件 1,823,400 1,094,040円	100.0%	100.0%	くみ取り作業への苦情もなく、目標は達成された。																	
	事業の目的及び具体的な内容			2,953千円	0人											R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	100.0%		100.0%												
	下水道未整備地区で生活廃水の吸込槽が機能低下によりあふれてしまうことを防ぐため、たまった生活廃水のくみ取りを行うことにより、周辺の衛生的な生活環境を保持する。			0.41人	0人																											
期間	S46 ~			3,281千円	0人		100.0%			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか																					
評価者	生活環境担当 浅見 仙隆									委託業者が、協同組合所沢清和会に昨年度から変わったが、引き続き安定した業務サービスができるように努める。	生活廃水を適正処理することにより、地下水や河川水の汚染を防止した。																					
444	生活環境課			実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)																	
				重要	自治事務		R4予算現額	R4決算額(見込み)								新規登録枚数 登録頭数 注射済票交付枚数	狂犬病予防注射接種率	狂犬病予防法に犬の所有者は狂犬病予防注射を毎年1回受けさせなければならないとなっている。		R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを											
		犬の登録・狂犬病予防注射管理事業	根拠法令	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合		実績	R3目標											R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析	所沢狂犬病予防協会や市内動物病院と連携して集合狂犬病予防注射や注射済票交付を行い、犬の飼い方教室の開催や広報による啓発活動などの実施により、ある程度の結果は残せたが、7割の接種率だったため。	17 パートナーシップで目標を達成しよう								
			狂犬病予防法	1.20人	1人																				1,340枚 15,185頭 10,988枚	100.0%	76.8%	犬の死亡届の未提出や、狂犬病予防注射を摂取しても注射済票の交付を行わない飼い主がいるため、制度の周知・啓発活動が必要である。				
			事業の目的及び具体的な内容	9,576千円	1人																								R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	100.0%	72.4%
			狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生、蔓延を防ぐため、市内で飼育されている犬の情報を登録し、狂犬病の接種状況を管理する。犬の鑑札および注射済票の交付を行うとともに、所沢狂犬病予防協会や市内動物病院と連携して集合狂犬病予防注射や注射済票交付を行うことで、予防注射接種率の向上を図っている。	1.13人	1人																											
		期間	H12 ~	9,042千円	1人			100.0%															事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか								
		評価者	生活環境担当 浅見 仙隆																				接種率の向上及び飼い主のマナー向上について、より効果がある方法を研究する。	狂犬病予防注射の接種率を向上させることで、狂犬病の発生を防止した。								

